

NARA・国際交流フェスティバル ワールドフェスティバル天理 2017

開催日：2017年11月11日(土)・12日(日)

開催場所：石上神宮、天理駅前広場コフフン



● 実施状況

「NARA・国際交流フェスティバル」は、奈良県の多様な文化を積極的かつ効果的に発信し、世界の人々が奈良県の文化芸術に興味や関心を抱くよう、文化芸術の国際交流を進めていくことを目的に2日間にわたり開催しました。

1日目は前夜祭として、石上神宮において奉納演奏を行いました。まず、石上神宮 森正光宮司による特別講話の後、太鼓奏者の林英哲氏と韓国の伝統芸術演奏家 金徳洙氏による奉納演奏が行われました。

2日目は天理駅前広場コフフンにおいて、日韓を代表する伝統音楽芸術家の演奏や、世界各国の打楽器音楽、舞踊を披露しました。荒井正吾奈良県知事による主催者挨拶の後、開催地の代表として並河健天理市長より歓迎の挨拶を行いました。ステージでは、バリ島やスリランカといった世界の音楽や舞踊をお楽しみいただいたほか、参加者が体験できるワークショップを実施しました。スペシャルライブとして、太鼓奏者の林英哲氏と太鼓ユニット「英哲風雲の会」による太鼓演奏、韓国の伝統芸術家金徳洙氏と韓国伝統打楽器集団「金徳洙サムルノリ」による演奏を行いました。さらに、両者の競演により日韓伝統音楽の迫力あるコラボレーションが披露されました。

また、同会場において天理市主催による「ワールドフェスティバル天理2017」も同時開催し、様々なステージプログラムや販売ブースにより、天理駅前が相乗的に盛り上がりを見せました。ご来場いただいた皆様には、世界の文化を体感していただくとともに、日本文化と世界の文化が交流・融合する新しい可能性を感じていただいたフェスティバルとなりました。

【プログラム】

11月11日(土)

天理駅前広場コフフン

世界のダンスや和太鼓の演奏、大道芸など
石上神宮 特別講話 石上神宮宮司 森正光
奉納演奏 林英哲 金徳洙

11月12日(日)

天理駅前広場コフフン

バリ島の音楽と舞踊、スリランカ舞踊
スペシャルライブ 林英哲&英哲風雲の会、金徳洙サムルノリ

【主催】

文化庁、厚生労働省、奈良県、天理市、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、奈良県大芸術祭実行委員会

グローバル観光セミナー

～「ガストロノミー」(食文化)を通じた持続可能な観光・国際交流の可能性～

開催日：2017年10月5日(木)

開催場所：ホテル日航奈良



● 実施状況

2017年の国連のテーマである「持続可能な観光国際年」に合わせ奈良・日本・スペインにおける食文化の取組を通じた、持続可能な観光について考えるセミナーを開催し、84名に参加いただきました。

はじめに原氏より、奈良県がすすめる「食」と「農」が接続した教育研修施設・NAFICの画期的な取組を通して地域の活性化及び観光への可能性についてお話いただきました。

次に小川氏より、温泉地を歩き、温泉につかり、その地域に根ざした食を楽しみ、歴史や文化を知る「ONSEN・ガストロノミー ウォーキング」の普及についてお話をいただきました。この取組は地域の持続可能な発展や雇用の促進等に重要な役割を担っていると説明されました。

最後に洞澤氏により、ガストロノミーはスペイン北部の代名詞であると紹介され、スペインのバスク地方の「バル」及びミシュラン3つ星レストラン、地元の人たちの食の楽しみ方等についてお話をいただきました。

このセミナーを通して、日本国内外における旅先

での食文化の楽しみや観光交流、更に地元の食を活用した観光促進が地域に貢献できるといった観光の可能性について理解を深めていただくきっかけとなりました。

【プログラム】

主催者挨拶

講演①「奈良の美味しい食の創造」

講師：なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)
副校長 原実氏

講演②「食を通じた地域の魅力がヒトとモノを動かす」

講師：株式会社ANA総合研究所 取締役会長
一般財団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 専務理事
小川正人氏

講演③「スペインの食と世界遺産」

講師：スペイン政府観光局
マーケティング・マネージャー 洞澤徹氏

【主催】

文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、奈良県大芸術祭実行委員会、国連世界観光機関駐日事務所、(一財)アジア太平洋観光交流センター